

# 第4回「社会科教育研究の方法論の国際化プロジェクト」シンポジウム

**主催** 全国社会科教育学会(JERASS)

**共催** 科研「社会科教育研究・実践の改善に資する研究法ハンドブックの日米共同開発」

広島大学大学院教育学研究科社会認識教育学講座

# どのようになれば子どもも学びを理解できるのか



● **日時**

2012年1月22日(日) 13時15分～17時

● **会場**

CIC大阪：大阪大学中之島センター  
 4階「多目的スペース3」  
 (JR福島駅より徒歩10分、新福島駅より徒歩5分)

- ▼ 本シンポジウムは、「社会科教育研究の方法論の国際化」に向けて、日米で確立されてきた研究方法論の比較と交流を目的としている。
- ▼ 上の目的を達成するため、日米の発表者には、①具体的な子どもの学びの状況を取り上げ、②それはなんの目的で、どのような手続きで分析することができるか紹介してもらう。また、③導かれた分析結果の意義や価値について、説明を求めたい。
- ▼ このような論点を設定することで、日米の社会科研究者が大事にしている問題関心、研究方法論そして研究成果の評価基準等が浮き彫りになるだろう。一連の報告と議論を通して、各国の研究者・実践者が相互に学び会える場を作りたい。



バンスレドライト先生



田口 紘子先生



藤本 将人先生

**プログラム** 進行 桑原 敏典 (岡山大学)

13時15分～13時30分 開会のことばー趣旨説明ー  
 13時30分～15時00分 米国の歴史学習研究の視点と方法  
 15時00分～15時15分 休憩  
 15時15分～15時45分 日本の歴史学習研究の視点と方法  
 15時45分～16時50分 指定討論、フロアとの意見交換  
 16時50分～17時00分 閉会のことばーまとめに代えてー

草原 和博 (広島大学)  
 ブルース・バンスレドライト (ノースカロライナ大学)  
 田口 紘子 (鹿児島大学)  
 藤本 将人 (北海道教育大学釧路校)  
 溝口 和宏 (鹿児島大学)

**特別ゲスト Dr. Bruce A. VanSledright**：ノースカロライナ大学シャーロット校教授。公立学校における歴史学習及びその教授法を研究している。主たる研究関心は、教室における子どもの学びを解明すること。最新の著書に、*The Challenge of Rethinking History Education*, Routledge, 2011, がある。